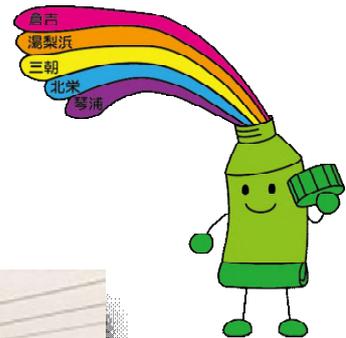


# 中部ハイスクールフォーラム 2024

## 事業報告書



【制作】 令和7年1月

令和6年度担当 倉吉市教育委員会事務局社会教育課

## 目次

1	事業概要	1ページ
2	事業実績	
	(1) 参加及び来場等実績	3ページ
	(2) プレゼン	
	ア 倉吉東高等学校	4ページ
	イ 倉吉西高等学校	5ページ
	ウ 倉吉農業高等学校	6ページ
	エ 倉吉総合産業高等学校	7ページ
	オ 鳥取中央育英高等学校	8ページ
	カ 倉吉北高等学校	9ページ
	キ 湯梨浜学園高等学校	10ページ
	ク しし GAMO7	11ページ
	(3) 展示発表	12ページ
	(4) 出店	14ページ
	(5) 意見交換	15ページ
	(6) 講評(全体)	16ページ
3	アンケート結果	17ページ
4	その他取組	23ページ
5	所見及び今後の展望	24ページ
	(資料) 実施要項	25ページ

## 1 事業概要

本事業は、鳥取県中部地区の高校生が、地域課題の解決など主体的な取組を通じて学んだ成果又は地域と高校生の連携事業案等を発表、意見交換をする中で、高校生自ら又は高等学校と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機とすることを目的に、中部地区各市町教育委員会等の主催により、毎年中部地区内で開催している。

今回も、前回に引き続き本事業の目的である「新たな連携及び参画に繋がる契機」の実現に向けて、『高校生の力で中部地区を元気にしよう！地域と高校生のコラボレーション』と題して高校生の地域参画・協働をテーマと位置付け、共通のテーマで研究・発表していただいた。

また、高校生の力で「地域を元気づけるプロジェクト」を地域、行政が一体となって実現できるよう各世代間で意見を交わす機会を創出するため、グループトークによる意見交換を実施した。

### (1) 開催日

令和6年12月14日（土） 午後1時30分から午後4時30分まで

### (2) 場所

鳥取県立美術館 県民ギャラリー（倉吉市駄経寺町2-3-12）

### (3) 内容

#### ア 開会行事

主催者代表挨拶 東伯郡社会教育協議会 会長 手嶋俊樹

#### イ プレゼンテーション（以下「プレゼン」という）

中部地区内高等学校・団体によるプレゼン（研究発表等）

#### ウ 意見交換

少人数に分かれてグループトークによる意見交換を実施

#### エ 展示発表

#### オ 出店

#### カ 講評

鳥取県教育委員会 教育長 足羽英樹 氏

### (4) その他

実施要項・・・資料のとおり（25～26 ページ）

【別表：各高等学校・団体の発表内容】

学校名	内容
倉吉東高等学校	<p>【プレゼン】 ツナグ～地域でつながる/地域とつながる/地域をつなぐ～ 【展示】2年次生探究活動 ばえマルシェ Maker チーム ～木工3Dプリンターによる制作物～</p>
倉吉西高等学校	<p>【プレゼン】誰もが利用したくなる白壁土蔵群 【展示】ステージ1 チャレンジグループ活動</p>
倉吉農業高等学校	<p>【プレゼン】TOTTORI パパイヤ普及作戦 【展示】倉吉農業高校 学科紹介</p>
倉吉総合産業高等学校	<p>【プレゼン】地域の食材で商品開発 【出店】ピザ販売</p>
鳥取中央育英高等学校	<p>【プレゼン】地域と高校はどう関わっていけるのか 【展示】学校PR</p>
倉吉北高等学校	<p>【プレゼン】プレパレーションサッカースクールの進化 ～NPO 法人 倉北ユナイテッドの設立～</p>
湯梨浜学園高等学校	<p>【プレゼン】旧北谷小学校をみんなの心の拠り所となる場所に ～災害時にも安心して過ごせる場所を目指して～</p>
しし GAMO7 (倉吉市小鴨地区で活動する 高校生グループ)	<p>【プレゼン】しし GAMO7 と！ 地元愛で繋ぐみんなの未来</p>
中央高等学園専修学校	<p>【出店】地元のフルーツを使ったスイーツ販売</p>
琴の浦高等特別支援学校	<p>【展示】地域とつながりながら進める学校づくり ～専門教科の取り組み～</p>

## 2 事業実績

### (1) 参加及び来場等実績

#### ア 参加高等学校（司会含む）

学校名	当日参加者数（人）		
	生徒	引率	計
倉吉東高等学校	12	1	13
倉吉西高等学校	4	1	5
倉吉農業高等学校	3	1	4
倉吉総合産業高等学校	8	1	9
鳥取中央育英高等学校	3	1	4
倉吉北高等学校	2	1	3
湯梨浜学園高等学校	2	1	3
中央高等学園専修学校	2	3	5
しし GAMO 7	4	1	5
琴の浦高等特別支援学校	※展示発表の参加		
計	40	11	51

#### イ 来場者数

区分	人数（人）
高校生	3
中学生	34
一般	79
計	116

#### ウ 参加者総計（ア+イ）

- ・ 167人（前年度報告書実績163名…4名増）

## (2) プレゼン

各高等学校のプレゼン内容及びこれに対する鳥取県教育委員会 足羽教育長によるコメント。

### ア 倉吉東高等学校

『ツナグ～地域でつながる/地域とつながる/地域をつなぐ～』

- ・ ボランティアに参加した際、若者の少なさを感じ、鳥取県の人口減少という大きな課題を実感したことから、若者の県外流出について研究することにした。
- ・ 倉吉東高2年生約150人にアンケートをとった結果、およそ90%の人が県外に出たいと回答。
- ・ 鳥取県に残るメリットとして、親がいる、慣れているから暮らしやすいなどの意見がある。また、住みよさランキングで倉吉市が近年上位であるのは安心度が高いためである。デメリットとしては、利便性が悪いこと、就職先の少なさがあり、若者や県外に出た人が地元に戻ってくるかどうかの分岐点となる。
- ・ IFLATsの方からアドバイスを聞くまでは、県外に出てしまう人を減らそうと考えていたが、県外に出た人をどのように戻せるかが重要だと考えた。
- ・ 倉吉東高校のMakerチームでは、久米製材で木工3Dプリンターを使用した作品の制作を始めた。高校生でも簡単に理想の形を制作することが利点。
- ・ 木工3Dプリンターを使用した鳥取と外部企業とのコラボを企画した。鳥取の林業を活かしながら制作した作品を都会で売る。制作者は鳥取に拠点を置きながら活動できる。
- ・ 「ナイスな椅子×倉吉」として具体的なアイデアを提案。都会の企業とコラボすることで、倉吉の流通の流れを活発にし、全国に注目してもらうことが狙い。



### 【足羽教育長講評】

若者の県外流出について考えるというテーマでお話いただきました。2年生へのアンケート、それから様々な考察をしながら、出たくない理由、あるいは出たい理由、高校生目線でしっかり考えながら、出た人をやはりいかに戻すのかというふうなことに答えを導いていただきました。その中で紹介いただいた「ナイスな椅子」、素晴らしい作品だったなというふうに思いますが、これはまさしく今、

県全体で取り組んでおります「ふるさとキャリア教育」、この生まれ育った故郷鳥取をしっかりと思い、また感謝の心を持ちながら自分がどこで誰とどんな生活をしていくのかという、そのキャリアをしっかりと形成していく、その上でいつの日かこのふるさと鳥取に、そういう思いをしっかりと発信していただける素晴らしい発表だったなというふうに思います。

## イ 倉吉西高等学校

### 『誰もが利用したくなる白壁土蔵群』

- ・白壁土蔵群のイメージをインタビューした結果、賑わってない、店が少ないなどマイナスなイメージが多く、私たち地元住民は、あるはずの魅力に気づいていないのではないかとという問題に焦点をあてた。
- ・白壁土蔵群の魅力が再発見できるように、観光客だけでなく地元の人も、何度でも行きなくなるような場所に、ということで“Charm（魅力）”“Vitality（活力）”“Established（定着）”の三本柱で提案。
- ・提案①「発見●白壁土蔵群の魅力ラリー！」、提案②「スマコチ@倉吉」、提案③「安心の笑顔が集まる場所」で、今よりもっと白壁土蔵群が活発になると考える。
- ・実現するためには多くの課題がある。今後も探究活動を進めていきたい。



### 【足羽教育長講評】

地元白壁土蔵群をメインとした地域観光資源をいかに有効に活かすかということで、地元の魅力発信をしていく工夫をお話していただきました。これは探究として大切な要素、仮説がきちんと立てられていましたね。地元の人が魅力に気づいてないんじゃないかという仮説のもとに、じゃあどうすればいい、スタンプラリーあるいはアプリを開発、さらには託児所を作ることといった具体的なものをコンセプトのもとにですね、提言をいただきました。ただ手をこまねいていても地元の良さは広がっていかない。そのために高校生でできること、あるいは地域の行政、住民ができる仕掛け、仕組みづくりが必要だという非常に建設的な提案だったなと思います。

## ウ 倉吉農業高等学校

### 『TOTTORI パパイヤ普及作戦』

- ・ 現在、青パパイヤの生の果実の販路拡大と食べ方・栽培の普及という二つの課題に取り組んでいる。
- ・ 生の果実を売ってお金に換える難しさがある。売るためには特徴を知らせる必要がある。そこでパイン酵素がどのくらい肉を柔らかくするか調べ、さらにおいしくさせることもわかった。東伯ミート協力の元、試食販売等で青パパイヤの力を知ってもらえる機会をつくった。
- ・ 食べ方についてもっと知ってもらう機会をつくるために、昨年から調理体験会を実施している。また、栽培したことがない人に良さを知ってもらうため、普及会を企画。栽培面積が約 7,500 m<sup>2</sup>から 16,000 m<sup>2</sup>まで増加した。
- ・ 青パパイヤには、利用できていない部分がたくさんある。葉を細かい粒子に加工して作ったペーストでプリンを試作したらとてもおいしかった。今後菓子屋さんなどのお店で使ってもらえないか願っている。
- ・ 青パパイヤを地域に広めて、農家の手助けにそして経営耕地面積の減少に歯止めをかけていきたい。



### 【足羽教育長講評】

学校の特産、青パパイヤをどう普及していくかというお話でしたが、これはもっと広く、今、県の農業政策への提言という視点で私は聞かせていただきました。農家の後継者不足、あるいは農地自体が減少していく、そうした背景をもとに、どうすればそれが解決に向かうのか、販路拡大であるとか、あるいは食べ物の周知であるとか、栽培面積を拡大していくことだとか、そういった具体的な形で、青パパイヤという一つの食物に注目して、これが一つの突破口になるんじゃないか、これをぜひやりたい、そんな発信でございました。ぜひこの青パパイヤが、鳥取県の農業も元気に豊かにする大きな突破口になることを期待したいなと思って聞かせていただきました。

## 工 倉吉総合産業高等学校

### 『地域の食材で商品開発』

- ・近年、食分野では地元食材の商品開発に取り組んでいる。自分たちにしかできないオリジナル商品を手がけてみたいと思い、「地域食材を使った商品開発」という研究テーマとした。
- ・研究の目的は、地域食材を調理する過程で、その特性や調理法、食文化を学ぶこと。目標として、高校生のアイデアで開発した商品で地域食材をPRし、地域活性化につなげることにした。
- ・試行錯誤や失敗を繰り返しながらも、社会人講師のアドバイスを受けて、2つの班がそれぞれ三朝神倉大豆味噌を使ったドーナツとカステラ、鳥取県西部の郷土料理にヒントを得て作ったいただきピザを商品化。
- ・私たちの住む地域には、誇るべき食材がたくさんあることや、その歴史や食文化について知ることができた。
- ・消費者目線で研究を進めることで、より深く料理について考える機会になった。



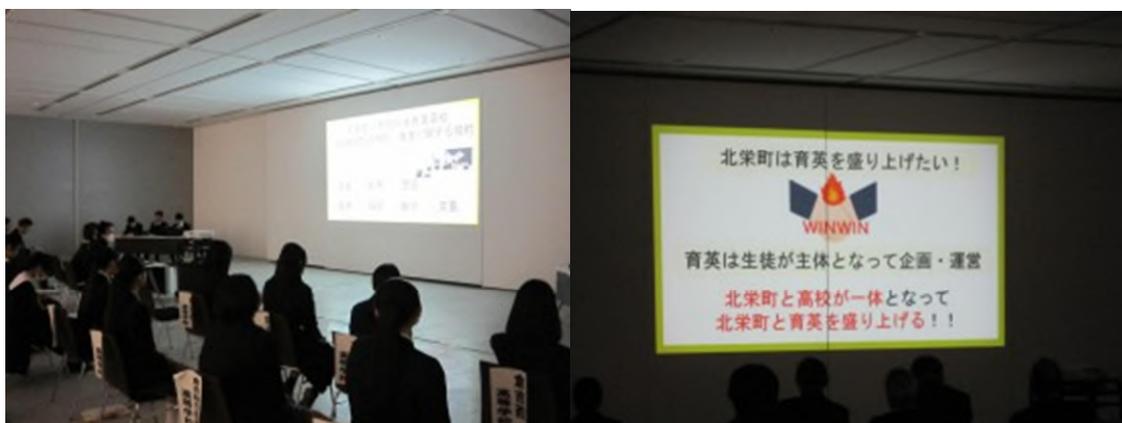
#### 【足羽教育長講評】

地域の食材での商品開発ということで、生活デザイン科の皆さんが、その日ごろの学びを活かした、「神倉大豆味噌」、また「いただきピザ」という2つのグループの探究が紹介をされたところで、私が非常に心に残ったのは、いろんな食材を使った商品作りにチャレンジをして工夫をして、そして失敗を重ねておられたところ、その失敗の中からこれだっていうふうに見出されたのが、このドーナツでありカステラだった。やったことが全てみんな成功するわけじゃなく、失敗、チャレンジ、失敗、チャレンジ、その延長線上に成功するという、この失敗あるいは試行錯誤からの学びをこの探究を通して発信をしていただいたこと、そしてそこに地域の方々からのたくさんの指導助言をいただきながら、地域ぐるみで地域の食材の魅力発見、これを進めていこうという素晴らしい発表だったなというふうに思いました。

## オ 鳥取中央育英高等学校

### 『地域と高校はどう関わっていけるのか』

- ・鳥取中央育英高校と北栄町はつながりが深く、様々な取組を協働で行っている。「地域探究の時間」推進に関する協約の締結、北栄町魅力発見チケット（ほくえい商品券1万円分）の全生徒への配布、部活動とのコラボによるTikTok動画で北栄町の農業の魅力を発信など。
- ・北栄町への提案として、「グリーンカーテン事業」、「RtoA～ゴミからアートへ～」、「イクリンピック開催」を提案。どの企画も育英生が主体となって企画・運営することで、北栄町を盛り上げることに繋がればと思う。
- ・日々支えてくださる北栄町に対し育英が行動を起こすことで、地域と高校が一体となって北栄町と育英を盛り上げていければと思う。



### 【足羽教育長講評】

今日冒頭で挨拶された北栄町の手嶋町長もしっかりこの思いを聞かれましたので、きっと北栄町は全面的に応援をされるんじゃないかなと思っております。ここにはそれぞれの地域探究の中で、町のために高校生ができることは何かを探されたところ、1つ目は風力発電エネルギーによるそのものに端を発したグリーンカーテンの考え方。それから2つ目はRtoAという、ゴミをアートの作品に変えてはどうかという提案。「美術部頑張りますよ。」そんな発言もありましたし、そして3つ目、スポーツで地域を活性化する「イクリンピック」の開催はどうか。これいずれも現実可能なような発表をされ、そして最後の言葉が印象的でしたね。主体は高校生でやります。まさしく高校生の本当に秘めたる力がどんどん発揮される場面を、その地域、まちと一緒にやろう、そういうことが力強く発信をされた。これは行政任せではなく高校生にできることを高校生でやるんだ。そんな力強い発信だったなというふうに思いました。

## カ 倉吉北高等学校

### 『プレパレーションサッカースクールの進化～NPO 法人 倉北ユナイテッドの設立～』

- ・倉北サッカー部は、2021年からプレパレーションサッカースクールという中学生を対象にしたサッカー教室を行っている。社会人チーム「けろ一会」も参加することで幅広い世代の人と一緒に、普通の部活動にはない最高の練習環境でプレイでき、人としても成長できる。
- ・今年4月にNPO法人倉北ユナイテッドが設立された。スクールが抱えていた課題が解決できたり、サッカーだけでなく他の種目にも広げていくことができる。
- ・今後は、他の部活動においても、身につけたものを地域の小学生や中学生に伝えられる機会をつくれるように働きかけていきたい。
- ・幅広い年代の方と一緒に活動を通して、自分自身の成長につなげることができるし、また地域にとって愛される高校、必要とされる高校になれると思う。



#### 【足羽教育長講評】

サッカー部が中心になって行っていた活動をさらに広げていくNPO法人化して「倉北ユナイテッド」、これを設立されたという発信でした。この活動の中に地域の方、「けろ一会」というサッカークラブの方の協力を得たり、あるいは関係者の方、そういった自分たちの単なる1つの部活動で完結ではなく、それをより地域に広げ、そこに中学生あるいは子供たちにスポーツの楽しさを広げていこうというふうな取組を学校を挙げてやろうとされている、そんな仕組みづくりに深く感銘を受けました。最後の言葉にありましたが、こうした人として自分たちが成長することが、愛される学校に繋がる、地域に必要とされる学校になる。もうみんなその高校生の姿が、地域に大きなエネルギーを与えていくんだというそんな決意を感じて、心強く思ったところです。

## キ 湯梨浜学園高等学校

### 『旧北谷小学校をみんなの心の拠り所となる場所に～災害時にも安心して過ごせる場所を目指して～』

- ・2016年鳥取県中部地震がきっかけで、地域の人同士がつながりを深め、災害時を含め普段から安心できる居場所の必要性を感じていた。今年3月末で閉校した旧北谷小学校の再活用を兼ねた地域づくりを考えた。
- ・「ぬのこ谷づくり×フェーズフリー」の提案。日頃から地域の人が集いつながる場として旧北谷小学校の施設を利用し、社会教育の拠点としての機能を果たすことで、地域防災や次世代にも残せる地域の形づくりにつながると考えた。
- ・具体的には、災害時の避難拠点、シアタールーム、直売所・カフェ、図書館、多目的スタジオ、スポーツライミング、スケートボードパーク、北谷コミュニティセンターの拡大。
- ・北谷小学校の再活用には解決しなければならない課題やたくさんの方の協力が必要になるが、実現できたら地域活性化や地域の方の心の拠り所となる居場所になる。
- ・小学校の施設には多様なことに利用できる空間や設備が整っている。大切な施設を無駄にしない、今あるものを最大限に活用し大切にすることが必要。



#### 【足羽教育長講評】

旧北谷小学校、統合され残ったこの施設をどういうふうにさらに活用をしていけばいいのかということで、具体的な提案をいただきました。「ぬのこ谷づくり×フェーズフリー」と題して、8つの視点でこの具体的な提案をされたところ。どんどん子供の数が減り、小学校も統合が進んで中学校も進んでおりますが、でもみんなが生まれ育った、そして学んだその校舎をどういうふうに活かしていくのかは、この卒業生だけの話ではなく、地域にとっても行政にとっても大きな大きな課題であり、課題であると同時にそれは夢も描ける場所かなというふうにお聞きをしました。教育財産を地域コミュニティの拠点へ変える、というテーマでの発信でした。こうなってくると今度は行政側がそうした財産をいかに未来の子供たちに活かせる、あるいはどう地域に活かせるような形にしていけるのかという

こと、それを強く考えさせられました。

## ク しし GAMO7（倉吉市小鴨地区で活動する高校生グループ）

### 『しし GAMO7 と！ 地元愛で繋ぐみんなの未来』

- ・ 私たちしし GAMO7 は、倉吉市小鴨地区に住む高校生グループ。自分たちが住む地域で楽しい活動がしたいと思ってグループを結成した。
- ・ 小鴨地区文化祭で2年連続子どもコーナーを担当し、ボール転がしゲームを手作りしたり、オープニングが華やかになるようバルーンリリースを提案し実行したりした。また、お正月にはとんどさんと地域の人と一緒に豚汁を作ったり、竹を組んだりした。その他、こども食堂のお手伝いなど様々な活動をしている。
- ・ 活動をするなかで小鴨の素敵などころを感じている。小鴨のいいところは、子どもの笑顔のためにみんなが楽しい活動をしてくれるところ。私たちが地域の方と協力して活動を行っていくことで、子どもたちにもっと小鴨を好きになってもらい、いずれは、しし GAMO7 の活動を引き継いでもらえるといいなと思っている。
- ・ 地域の行事を通して、年齢に関係なく笑顔の連鎖をつくっていく。小鴨地区がみんなの居場所になったらいいなと思う。地域愛をどんどん周りに広めていこう。しし GAMO7 の挑戦はこれからも続く。



### 【足羽教育長講評】

私も最初、ちょっとびっくりしましたが、この小鴨地区に住んでおられる高校生がこうして高校生目線で様々な地域の活動に参加されていることを本当に嬉しく、頼もしく思いました。小鴨地区には高校はありませんが、高校生はいる。県内そんな地域がたくさんあるんですね。高校生がそこにいること、そして地域の中でできることを探されることが、高校生としての地元愛を育むこと、また人との繋がりを大切にしたい。それがこの、しし GAMO7 の中には「地域愛で繋ぐみんなの未来」という合言葉で示されていた。また、こうした新たな力がこのフォーラムに加わったこと、本当に嬉しく思ったところです。

### (3) 展示発表

#### ア 琴の浦高等特別支援学校

##### 地域とつながりながら進める学校づくり～専門教科の取り組み～

①実際の職場環境やそこでの業務を体験的に学習することで、実践的な働く力を育成すること、②地域の企業や農家での作業により「仕事の達成感」や「自己有用感」を感じ、地域との交流を深めることで多年層とのコミュニケーション力を養うことを大きなねらいとして、地域の方々に協力いただきながら取り組んでいる。



#### イ 倉吉東高等学校

##### 2年次生探究活動 ばえマルシェ Maker チーム

##### ～木エ3Dプリンターによる制作物～



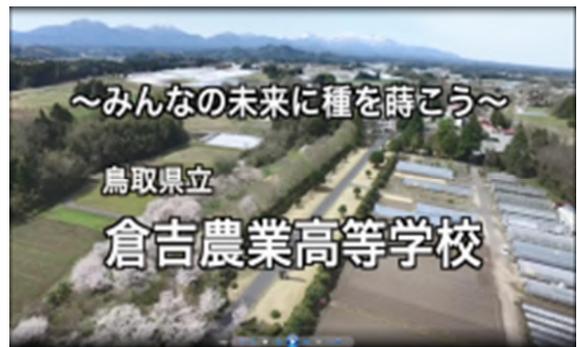
ウ 倉吉西高等学校

ステージ1 チャレンジグループ活動



エ 倉吉農業高等学校

倉吉農業高校 学科紹介



(動画)

オ 鳥取中央育英高等学校

学校PR



(動画)

#### (4) 出店

##### ア 倉吉総合産業高等学校

##### ピザ販売

地元食材や食文化をイメージしたピザに取り組み、鳥取県西部地区の郷土料理「いただき」の味を再現したもの。



##### イ 中央高等学園専修学校

##### 地元のフルーツを使ったスイーツ販売

地元で採れたフルーツを使って美味しいスイーツを作った。地元こんな美味しいフルーツがあることを知ってもらいたい。また、規格外や傷がついたフルーツを使用することでフードロスにも取り組みたい。



## (5) 意見交換

高校生と参加者がグループに分かれて意見交換を行う方法で実施した。司会者から発表されるトークテーマごとに、自分の考えや意見をキーワードで紙に大きく書き、司会の「せーの、ドン！」の合図で一斉にオープンし、各グループで意見を交わし合った。全部で4つのトークテーマでグループトークを行った。各グループともトークが盛り上がり、参加者の顔には笑顔が溢れていた。最後は、トーク全体でのグッドアンサーをいくつかのグループから発表してもらい、全体で共有して意見交換を終了した。

【トークテーマ1】自己紹介とプレゼン発表の感想を一言

【トークテーマ2】今がんばっていること または これからがんばりたいこと

【トークテーマ3】自分の住んでいる地域のいいところ

【トークテーマ4】鳥取県中部をもっと盛り上げるためには？



## (6) 講評(全体)

鳥取県教育委員会 教育長 足羽英樹 氏

今年はいよいよ来年3月30日にオープンするこの県立美術館、素敵な会場をお借りしまして、多分7回目になるんじゃないかと思うんですが、中部ハイスクールフォーラムを開催していただきました。まずその開催にあたって、尽力いただきました中部地区の市町村教育委員会の皆様方、さらには社会教育協議会の皆様方、三朝町の松浦町長には、トークの最後まで参加いただきました。たくさんのエネルギーをいただいたことは皆様に本当に感謝申し上げます。私も1回目からずっと続けて、この最後の舞台に立って講評の機会を与えていただいております。年を重ねるごとに高校生の発表のレベルがどんどん上がっていることを今年も本当に痛感しました。

今年の企画はトークテーマ、こういう形で5人6人のグループで語り合っていたいただきました。たくさんのトークセッションの中で皆さんが一番楽しまれた時間だったかなというふうに思いました。私もずっと回りながら、本当に高校生の皆さん、あるいは参加いただいた中学生の皆さん、そして地域の方々、関係者の皆さんとともにですね、生き生きとした笑顔が素敵でした。4つの“合う”を発見しました。1つは“語り合う”、2つ目は“認め合う”、3つ目は“励まし合う”、そして4つ目は“笑い合う”。この4つの“合う”が、この会場いっぱい1時間余り繰り広げられたこと、本当に素敵なトークセッションであったなというふうに思って、今回のこのハイスクールフォーラムが大成功だったな、そんな思いを持ってこの場に立たせていただいています。参加いただいた全ての皆様方に心から感謝し、こんな中学生がいる、こんな高校生たちがいる。そしてそれをしっかり受け止めていただける大人の皆さん方がいること、鳥取県は絶対に大丈夫。そんな思いを持って、また明後日から厳しい仕事に戻りたいなと思います。この熱意をしっかりと胸に頑張って鳥取県の子どもたちのために、今私達ができることを今後も精一杯頑張っていきます。ぜひ皆さんと一緒にやれたら嬉しいなと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日はお疲れ様でした。

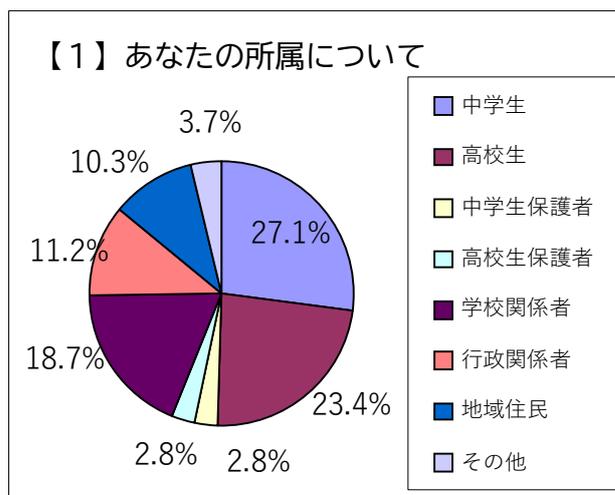
### 3 アンケート結果

来場者に対しアンケートを実施したところ、用紙及びインターネット（Google Form）により、**総合計 107 件**の回答を得た。

「【4】本日のフォーラムはいかがでしたか」の問いに対して、特に（1）全体（2）プレゼン、（3）意見交換において「とても満足」、「満足」と回答した割合が90%を超え、参加者の満足度が高い結果となった。

#### 【1】あなたの所属を教えてください

	回答	回答数	割合
①	中学生	29	27.1%
②	高校生	25	23.4%
③	中学生保護者	3	2.8%
④	高校生保護者	3	2.8%
⑤	学校関係者	20	18.7%
⑥	行政関係者	12	11.2%
⑦	地域住民	11	10.3%
⑧	その他	4	3.7%

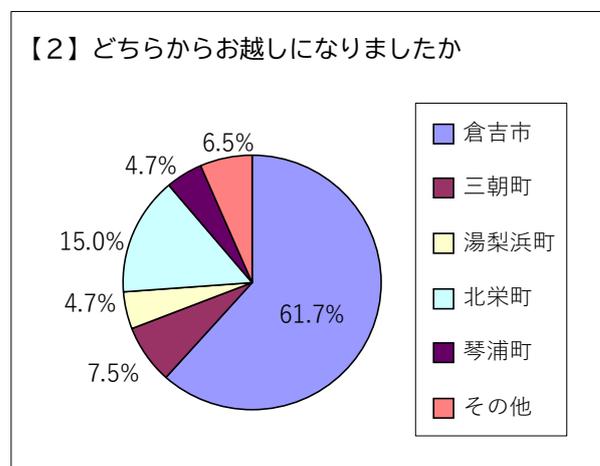


#### ⑧その他

- ・コミュニティセンター 1      ・小中高校生保護者 1
- ・倉吉市社会教育委員 1      ・放送局 1

#### 【2】どちらからお越しになりましたか

	回答	回答数	割合
①	倉吉市	66	61.7%
②	三朝町	8	7.5%
③	湯梨浜町	5	4.7%
④	北栄町	16	15.0%
⑤	琴浦町	5	4.7%
⑥	その他	7	6.5%

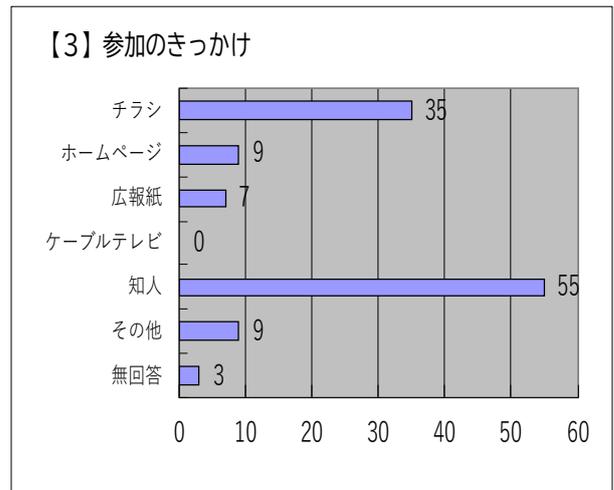


#### ⑥その他

- ・鳥取市 6      ・大山町 1

### 【3】参加されたきっかけを教えてください（複数回答可）

	回答	回答数
①	チラシ	35
②	HP	9
③	広報紙	7
④	ケーブルテレビ	0
⑤	先生や家族、知人に誘われて	55
⑥	その他	9
⑦	無回答	3



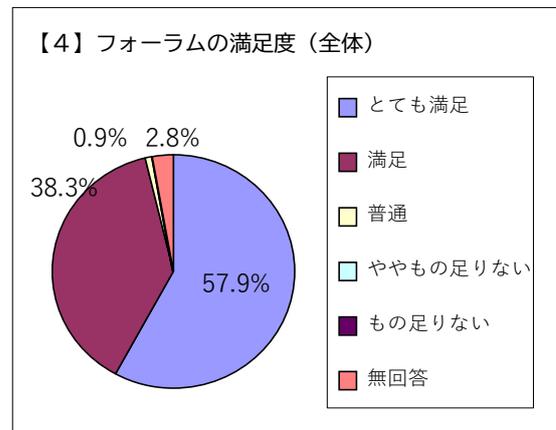
#### ⑥その他

- ・教育委員より
- ・職場の案内
- ・行政からのお知らせ
- ・自分の子どもが発表するから
- ・市教委の案内
- ・社会教育委員として案内をいただいた
- ・学校
- ・PTA 会長からのお誘い
- ・引率

### 【4】本日のフォーラムはいかがでしたか

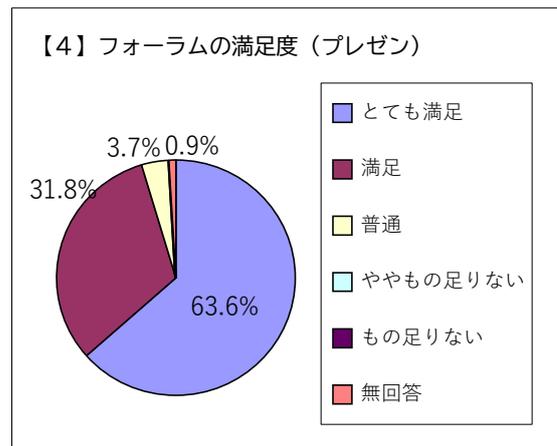
#### (1) 全体を通して

	回答	回答数	割合
①	とても満足	62	57.9%
②	満足	41	38.3%
③	普通	1	0.9%
④	ややもの足りない	0	0%
⑤	もの足りない	0	0%
⑥	無回答	3	2.8%



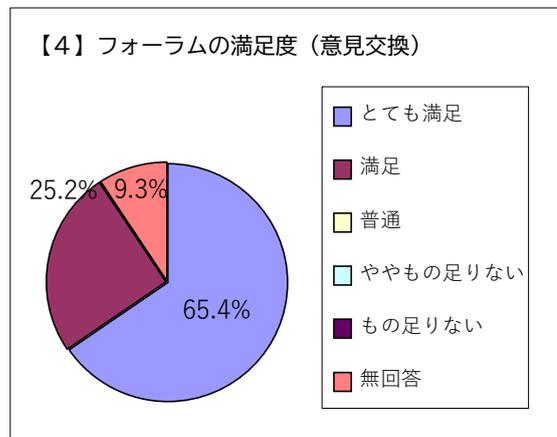
(2) プレゼンテーション

	回答	回答数	割合
①	とても満足	68	63.6%
②	満足	34	31.8%
③	普通	4	3.7%
④	ややもの足りない	0	0%
⑤	もの足りない	0	0%
⑥	無回答	1	0.9%



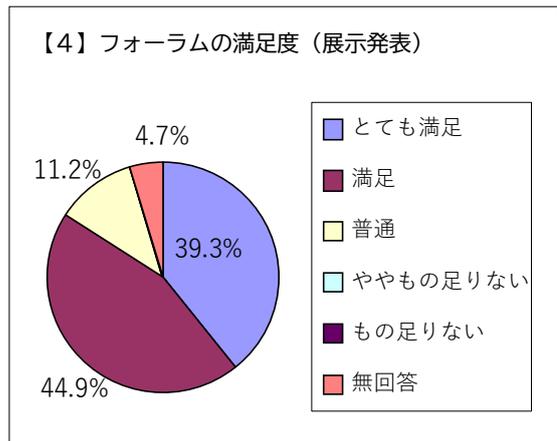
(3) 意見交換（グループトーク）

	回答	回答数	割合
①	とても満足	70	65.4%
②	満足	27	25.2%
③	普通	0	0%
④	ややもの足りない	0	0%
⑤	もの足りない	0	0%
⑥	無回答	10	9.3%



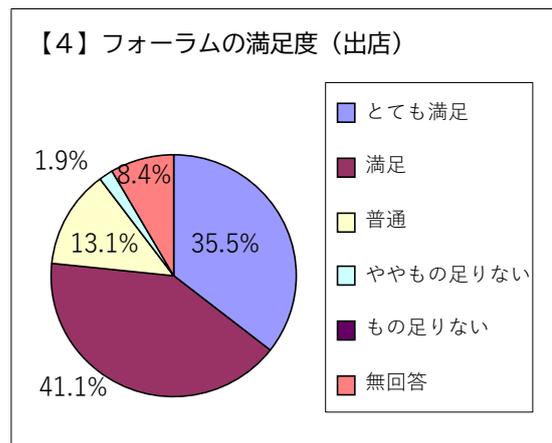
(4) 展示発表

	回答	回答数	割合
①	とても満足	42	39.3%
②	満足	48	44.9%
③	普通	12	11.2%
④	ややもの足りない	0	0%
⑤	もの足りない	0	0%
⑥	無回答	5	4.7%



#### (5) 出店

	回答	回答数	割合
①	とても満足	38	35.5%
②	満足	44	41.1%
③	普通	14	13.1%
④	ややもの足りない	2	1.9%
⑤	もの足りない	0	0%
⑥	無回答	9	8.4%



**【5】本フォーラムに関するご意見・ご感想、高校生へのメッセージがありましたらご記入ください。**

#### 【中学生】

- ・とても楽しかったです。
- ・とても勉強になった。
- ・グループトークでいろんな意見が聞けてよかった。
- ・活動がんばってください！
- ・見ず知らずの人と様々な題で話し合うのがとてもおもしろかったです！！
- ・伝え方や内容がすごかった。
- ・今回このように、機会をくださりありがとうございました。今後の自分の活動に活かしたいと思いました。
- ・スライドの作り方の参考になりました。よかったです。ありがとうございました。

#### 【高校生】

- ・とっても充実した時間になりました。
- ・最後のグループトークは、世代や年齢関係なく、話し合うことができる場で、とても面白く、こういった機会が色んな所で、できるようになればいいと感じました。
- ・一人一人の意見をしっかり聞いて、サポートしていかないといけないと思いました。
- ・いい発表ばかりだった
- ・みんなおつかれさま

#### 【保護者】

- ・高校生の着眼点や考え、行動力、想像力がどこもすばらしかった。これから何が必要なのかを考えられるとても良いヒントをもらえた。
- ・楽しく、ワクワクする時間が過ごせました。ありがとうございます。

- ・大人の私たちがいい刺激をたくさんもらいました。これからも応援しています！
- ・どの高校生の発表もよく考えられていて、とても興味深く聞かせてもらいました。柔軟な発想と広い視野で様々なことを考えておられ、素晴らしかったです。もっとたくさんの人に見てもらえると良いと思いました。
- ・大人にはない自由な視点、アイデアがたくさん見られた時間でした。高校生皆さんの地元への想い、とても素晴らしかったです。ありがとうございました。
- ・すばらしかったです ありがとうございました

#### 【学校関係・行政関係・地域住民】

- ・期待してます
- ・高校生のナマの声が聞けてよかったです
- ・昨年よりもっと具体的な事例発表で身近に感じた。
- ・「イマドキ」の高校生のパワーと知識を目の当たりにしました。自分にも同年代の子どもがおりますが、このような会に出席する子どもはごく一部なのが現実だとは思いますが、自主的にこういった活動に参加できる、興味がある生徒は「気付き」と「経験」が得られるので、是非今後もどんどん活動して行ってほしいです。
- ・ステキな時間をありがとうございました。
- ・出店に関しては気付かなかったので回答し難く普通としました。
- ・初めての参加でしたが、高校生のしっかりした考えを持つる事にはとても良かったです。
- ・大変すばらしい発表でした。毎年レベルアップした探究・発表で良かったです。発表した内容が実現できるようがんばって下さい。
- ・中学生の参加もあり、大変頼もしく感じました。高校生のプレゼン堂々として内容もすばらしかったです。ありがとうございました。
- ・せっかく発表するのだから、みんながもっと元気に聞こえやすくゆっくりしゃべったらよいと思います。折角の機会がもったいないと思います。
- ・すばらしい発表 参考になった
- ・我々でも思いつかないいろいろな提案があり、皆さんの可能性、力に感動し期待しています。提案を行動に移す第一歩をふみだしてください。
- ・地域の課題について考えるよい機会となったと思います。ありがとうございました。
- ・中学生と話し合うことで、考えていることなどが知れ良かった。
- ・グループトークは有意義な時間であったが、トークテーマが高校生やハイスクールフォーラムとうまくつながらなかった。
- ・本日の発表者どの学校もすごかったです。そして現実をしっかりとらえて提言にもってこられた内容は立派でした。これを実現させるための取組を考えていかなければならないですね。行政、学校などの連携大切と思いました。
- ・マイクなのかスピーカーなのか使い方なのか分からないが、聞き取りにくい場面が多々あったので改善を。高校生すごい！ありがとうございました。さらなる活躍を願っています。

- ・高校生ががんばっている様子を知ってうれしかった。そこに中学生も参加して高校生の姿を学ぼうとしているのもよかった。地域の私たちもこれからが楽しみ。
- ・後半のグループトークは大人も参加して楽しかったです
- ・今後も継続を望みます。多世代交流ができてよかったと思います。
- ・各高校、地域と協力した取り組みができていて今後の展開もよくわかり、勉強になった。
- ・中学生高校生を交えてのグループトークがとても良かったです。住民、生徒、社会人の視点が見える形での有意義な意見交換会でした。楽しみながらの活動というしし GAMO7のことがとても印象的でした。ぜひ高校生の活動を支援していきたいと思います。
- ・いろんな提案があつてすばらしいのだが、気になるのは提案しただけでおわりになっていないか、ということ。去年にもフォーラムがあり、多くの提案があつたけど、それらがその後どうなったか気になります。うまく進まず止まってしまったのもあるとは思うけど、やっぱりそこまでフォローしていくのが大人の責任ではないかと考えます。提案しっぱなしが当たり前になるとしたら本当になかない。

## 4 その他取組

### (1) アイスブレイク交流会／全体打合せ／プレゼン発表リハーサル

発表を行う高校生には、当日午前中に集合していただき、まず最初にアイスブレイク交流会を行って、本番を前に簡単なゲームで緊張を解きほぐすとともに、高校生同士の交流を図った。合わせて全体打合せ、リハーサルを行って本番に備えた。



### (2) 倉吉北高等学校調理科・調理クラブ作成お弁当

発表者の高校生をはじめ関係者の当日の昼食として、倉吉北高等学校調理科・調理クラブの高校生のみなさんにお弁当を作っていたいただいた。彩りも美しく、一品一品丁寧に調理されたお弁当をおいしくいただいた。



### (3) 各高等学校紹介スライドショー

開会前の待ち時間を利用し、各高等学校の紹介をスライドショーで行った。各高等学校の特色を知っていただくこととした。

### (4) アンケートにおける連絡先記入欄の設置

本事業が、その目的としている「高校生と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機」となるよう、昨年度から参加者が発表の内容について、もっと知りたい、協力したいなどの希望がある場合、連絡先等をアンケートに記入していただき、各

高校・団体へつないでいる。今年度も、5件の希望があり、該当の高校等へ連絡を行った。

## 5 所見及び今後の展望

今年度も「高校生の地域参画・協働」をテーマとし、これを共通のテーマとして各高校等から研究・発表を行っていただいた。

今回も地域が抱える課題についての解決策の提案や地域資源の再発見と新たな活用方法の提案、地域と連携して取り組んだ成果などについて、発表していただいた。発表形式はプレゼンだけでなく展示発表、出店という形でも発表していただくことができた。今回初めて中央高等学園専修学校に出店で参加いただき、また、初めて高校の枠ではない地元地域で活動している高校生のグループ「しし GAMO 7」にも参加いただき、より地域に密着した主体的な活動を発表していただくことができた。

各高校・団体の発表とも、高校生が地域に関心をもち、自らの視点で主体的に地域の問題を捉え考察し、地域の人とつながりながら問題の解決や新たなものを創造し地域に活力を高校生自らが主体となって与えていこうとするものなど素晴らしい内容だった。この素晴らしい高校生の取組や活動を、中学生や地域の方をはじめ参加いただいたみなさんに知っていただくことができた。

また、今回の意見交換は、参加者全員参加による少人数に分かれてのグループトークで行った。高校生を含めた異世代の参加者同士が、近い距離で顔と膝をつき合わせ、直接お互いの意見を交わし、語り合った。違った視点から様々な意見が飛び交い、お互いに気づきを得ながら学び合い、参加者同士の交流も図ることができたと思われる。

今後も、この事業を通じて、高校生の取組や活動をさらにたくさんの人に知ってもらい、高校生と地域との連携及び参画が一層進んでいくよう継続して実施していきたい。それにより、地域で活躍する若者が増え、将来を担う地域人材の育成につながっていくことを期待したい。そして、若者の活躍を地域で応援できる社会が実現できるよう、行政・地域・学校が連携し一体となってその取組を進めていく必要がある。

結びに、本事業に参加いただいた中部地区各高等学校、しし GAMO 7の皆さん、講評をいただいた鳥取県教育委員会 足羽英樹教育長様、そしてご来場いただいた全ての皆様に深く感謝を申し上げますとともに、今後も本事業への御協力、御参加をお願いしたい。

(文責) 中部ハイスクールフォーラム 2024 担当  
倉吉市教育委員会事務局社会教育課

中部地区社会教育関係者研修会 兼 中部地区生涯学習実践研究交流会

## 中部ハイスクールフォーラム2024 実施要項

### 1 目的

鳥取県中部地区の高校生が、地域課題の解決など主体的な取組を通じて学んだ成果又は地域と高校生の連携事業案等を発表、意見交換をする中で、高校生自ら又は高等学校と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機とする。

#### 【今年度の事業趣旨】

- 本事業の目的である「新たな連携及び参画に繋がる契機」の実現に向けて、『高校生の力で中部地区を元気にしよう！地域と高校生のコラボレーション』と題して高校生の地域参画・協働をテーマとする。
- 参加する高校生同士の議論を深めるフォーラムとするために各校共通のテーマで研究・発表する。
- 高校生の力で「地域を元気づけるプロジェクト」を地域、行政が一体となって実現できるよう各世代間で意見交換ができる機会を創出する。

### 2 主催

中部地区各市町教育委員会

東伯郡社会教育協議会

鳥取県社会教育協議会

### 3 日時

令和6年12月14日（土） 午後1時30分から午後4時30分まで

### 4 会場

鳥取県立美術館 県民ギャラリー（倉吉市駄経寺町2-3-12）

### 5 テーマ

『高校生の力で中部地区を元気にしよう！ 地域と高校生のコラボレーション』

- (1) 総合的な探究等の活動において地域と連携して得た成果や今後期待される効果
- (2) 地域と高校生と一緒に活動することで地域の活性化を目指す新プロジェクトの提案
- (3) 高校生が主体となって、地域で活動してみたいこと

など、高校生と地域が一体となって活動した実績や提案を各校で発表し、その後グループに分かれ、さまざまな世代・立場の人と意見交換を行う

#### 【発表の例】

- ・既存の取組（総合的な探究等）をテーマに絡めて発表（学習結果をどのように地域の課題解決等に活かしていくかという考察を加える）
- ・高校生自身が持っている技能やアイデアを、地域で活用することの提案（既存の取組以外の提案や発表も大歓迎）

## 6 主な内容

### (1) プレゼンテーション

- ・テーマに沿った各校等の研究発表及び事業提案
- ・1校等につき10分程度
- ・プレゼンテーションソフト、ホワイトボード、寸劇など表現方法は自由

### (2) 意見交換（グループトーク）

- ・高校生、一般参加者、中学生等がグループに分かれ、トークテーマに沿って意見交換を行う

### (3) 展示発表

- ・テーマに沿った各校等の研究発表及び事業提案を展示形式で発表する
- ・展示方法は、模造紙等又は動画とする
- ・展示発表のみの参加も可とする

### (4) その他

- ・会場で研究や活動の成果品（グッズ、加工品等）の配布など
- ・プレゼンテーション、意見交換、展示発表以外の参加も可とする

## 7 参加対象者

定員 200人 ※事前申込要

参加自由とするが、特に次の団体、関係者に積極的な参加を呼びかける。

- (1) 中部地区内高校生
- (2) // 中学生
- (3) 中高生の保護者
- (4) 社会教育関係者（社会教育委員、学校運営協議会関係 等）
- (5) 地域で活動している団体等
- (6) 参加校等が希望する団体（例：農業関係の発表の場合、JA関係者や農家など）

## 8 その他

フォーラム及び展示内容を後日インターネットで配信することについて予め御了承ください。[ YouTube限定公開 【URL】 <https://youtu.be/3kT5NM45WBA> ]